

2009年度

科目名	絵画・工芸(含、理論)			コード	54370
担当教員	安東 菜々			単位数	2
配当	教福1(6213)	講時	金曜日4限		
開期	通年				
授業テーマ	基礎造形概論とその技法を修得する				
目的と概要	幼児や児童の造形的な成長・発達段階に見られる「表現」の特質や傾向を理解し、幼児や児童の造形的な創造活動の意義について探究する。本講座では、主として表現にある基本的な事柄を実技実習し、その技法を体得していく。特に、「線表現」「面表現」「色彩表現」「立体表現」「楽しい造形活動」「鑑賞」の各領域から、教育現場で行われている学習の実際を体験していく。				
成績評価法	・出席状況・制作活動の様子・提出作品・テスト・自己評価などによって総合的に評価する。				
テキスト	必要に応じてテキスト・資料を紹介する。				
参考書	適宜紹介する。				
履修に当たっての注意・助言					
講義計画					
回	基礎造形概論	実技実習の内容	備考(持参物)		
1回	レタリングについて	明朝体・ゴシック体	鉛筆		
2回	デッサンについて	鉛筆デッサン①	鉛筆(HB,2B,4B,6B)		
3回	陰陽表現について	鉛筆デッサン②	鉛筆(HB,2B,4B,6B)		
4回	線表現にある基本的な事柄	一本線描法	細書き水性ペン		
5回	パスの持ち方、塗り方	線塗り、面塗り、混色	パス(16色)		
6回	パスの技法①	フロッタージュ	パス(16色)		
7回	パスの技法②	ステンシル	パス(16色)		
8回	パスの技法③	スクラッチ	パス(16色)		
9回	パスの技法④	パチック	パス、水彩絵の具一式		
10回	水彩絵の具の色遊び	トリッピング、フローイング、デカルコマニー	水彩絵の具一式		
11回	水彩絵の具の基本的な事柄①	濃淡、透明、明暗	水彩絵の具一式		
12回	水彩絵の具の基本的な事柄②	混色、重色	水彩絵の具一式		
13回	水彩絵の具の技法①	にじみ、ぼかし	水彩絵の具一式		
14回	水彩絵の具の技法②	ウォッシング、かすれ	水彩絵の具一式		
15回	水彩絵の具の技法③	スタンピング、たんぼ、ストリングデザイン	水彩絵の具一式、その他		
16回	貼り絵を使った技法	フォトモンタージュ	広告紙、はさみ、その他		
17回	はさみ、のりの基本的な事柄	紙工作①	はさみ、カッターナイフ		
18回	カッターナイフの基本的な事柄	紙工作②	はさみ、カッターナイフ		
19回	粘土の基本的な事柄	紙粘土の立体①	雑巾		
20回	粘土の種類と特徴	紙粘土の立体②	雑巾		
21回	版画の色々①	マーブリング、染め紙	古新聞、雑巾		
22回	版画の色々②	凸版	ボールペン、古新聞		
23回	版画の色々③	刷り	ぼろぎれ、古新聞		
24回	技法・色彩に関する用語	色彩ワーク	水彩用具一式、筆記用具		
25回	西洋美術史	西洋美術史ワーク	筆記用具		
26回	日本美術史	日本美術史ワーク	筆記用具		
27回	木工作の基本的な事柄①	木の切断	材料、軍手		
28回	木工作の基本的な事柄②	木の接着、接合	軍手		
29回	テスト、鑑賞の重要性	鑑賞ゲーム	作品持ち帰り袋		
30回	造形遊び	金工作	アルミ缶、軍手		
* 作品は個人に返却する。各個人の制作活動に必要な材料費を別途徴収する。					
* 絵画・工芸 I で制作した作品類は、教育実習時に教材研究の有効な参考資料となるので、大切に保管のこと。					